

FANCL

正直品質。

「3R活動優良事業所」認定

会社概要

会社名(英文)	株式会社ファンケル(FANCL CORPORATION)
所在地	〒231-8528 横浜市中区山下町89-1
代表者	代表取締役 社長執行役員 CEO 島田 和幸
設立年月日	1981年8月18日
資本金	10,795百万円
事業内容	化粧品・健康食品の研究開発、製造および販売
従業員数	901名 ※ 2021年3月31日現在 契約社員・パートなどは除く

認定基準		自社の具体的取組
1	分別排出の徹底	廃棄物の分別、社内ポータルサイトで周知
2	従業員への環境教育の実施	ゴミの分別体験、入社研修での教育
3	再資源化の推進	資源のリサイクル化
4	紙ごみの減量化の推進	ペーパーレス化、複合機の集約印刷推奨 印刷使用量の管理・評価
5	資源回収の推進	ペットボトル回収、廃油回収、商品容器回収 紙パック回収
6	発生抑制の推進	事務用品のリユース
9	使い捨て容器・使い捨て製品の 使用削減	グリーンチャレンジの実施
11	社会貢献活動等	地域清掃活動

【項目1】分別排出の徹底

① 廃棄物の分別について

各フロアに「分別ステーション」を設置し、分別排出の強化を図っている



分別間違いを減らす為、間違いやすいものを写真とともに掲示し分別強化を図っている

分別された各フロアのゴミは1階荷捌場に集約し計量後に廃棄



計量後、月ごとに廃棄量を集約し資源化率を管理

2021年度 事業系一般廃棄物発生量及び資源(回収)ゴミ発生量(Kg)

項目		廃棄ゴミ			産業廃棄物				一般廃棄物					資源ゴミ	ゴミ	1階 食堂 廃油 回収量 (L)	
年月		生ゴミ	可燃物	廃棄ゴミ 合計	金属類 空き缶	ガラス類 空き瓶	ペットボトル	廃プラスチック 一階食堂等 弁当容器等	シュレッダー紙	古紙	新聞	雑誌	段ボール	ミックスペーパー	資源ゴミ 合計		発生量 総合計
2021年4月		140.0	1510.0	1650.0	300	2.0	344.0	1290.0	235.0	500.0	1280.0		706.0	575.0	4962.0	6612.0	0.8
2021年5月		130.0	1345.0	1475.0	25.0	2.0	232.0	1050.0	205.0	340.0	830.0		430.0	470.0	3584.0	5059.0	0.7
2021年6月		160.0	1625.0	1785.0	28.0	10.0	286.0	1375.0	230.0	550.0	1270.0		640.0	590.0	4979.0	6764.0	0.7

※4月度からは工藤紙業回収業者変更...古紙・新聞・雑誌の混載処分持ち帰り車載量記録

第一月曜日

【項目1】分別排出の徹底

② ゴミ分別の詳細はポータルサイト内で掲載

全社ポータルサイトで分別方法を公開し、社内周知を行い、いつでも閲覧できるようにすることで分別の強化を図っている

■ 分別方法の詳細 ※資料一部抜粋

■ ポータルサイトトップページ



※ビル内にある全てのゴミ箱について廃棄できるゴミと廃棄方法を説明

【項目2】従業員への環境教育の実施

① ゴミ分別体験の実施

社内の分別状況を確認し、分別ルールの周知などを行っています。
これにより、正しく分別する意義や資源循環の重要性などを学んでいます



ゴミの分別体験の様子

現在、コロナ禍で実施できない為、社内放送と社内ポータルサイトを利用し、資源化率の強化を行っている。
また、ゴミ分別強化の為チームを結成し、ゴミ箱の巡回等を検討中

② 入社研修での教育

新入社員、中途入社従業員に対し研修の中で、ゴミの分別についての教育も実施

※資料一部抜粋

「燃やすゴミ」ではありません！
「社外秘書文書」、「紙バック」、「飲み物が入ったままのプラスチック」が、「燃やすゴミ」に入っています。

燃やすゴミ
後に残るは
灰ばかり

リサイクル
コストかけても
有益に

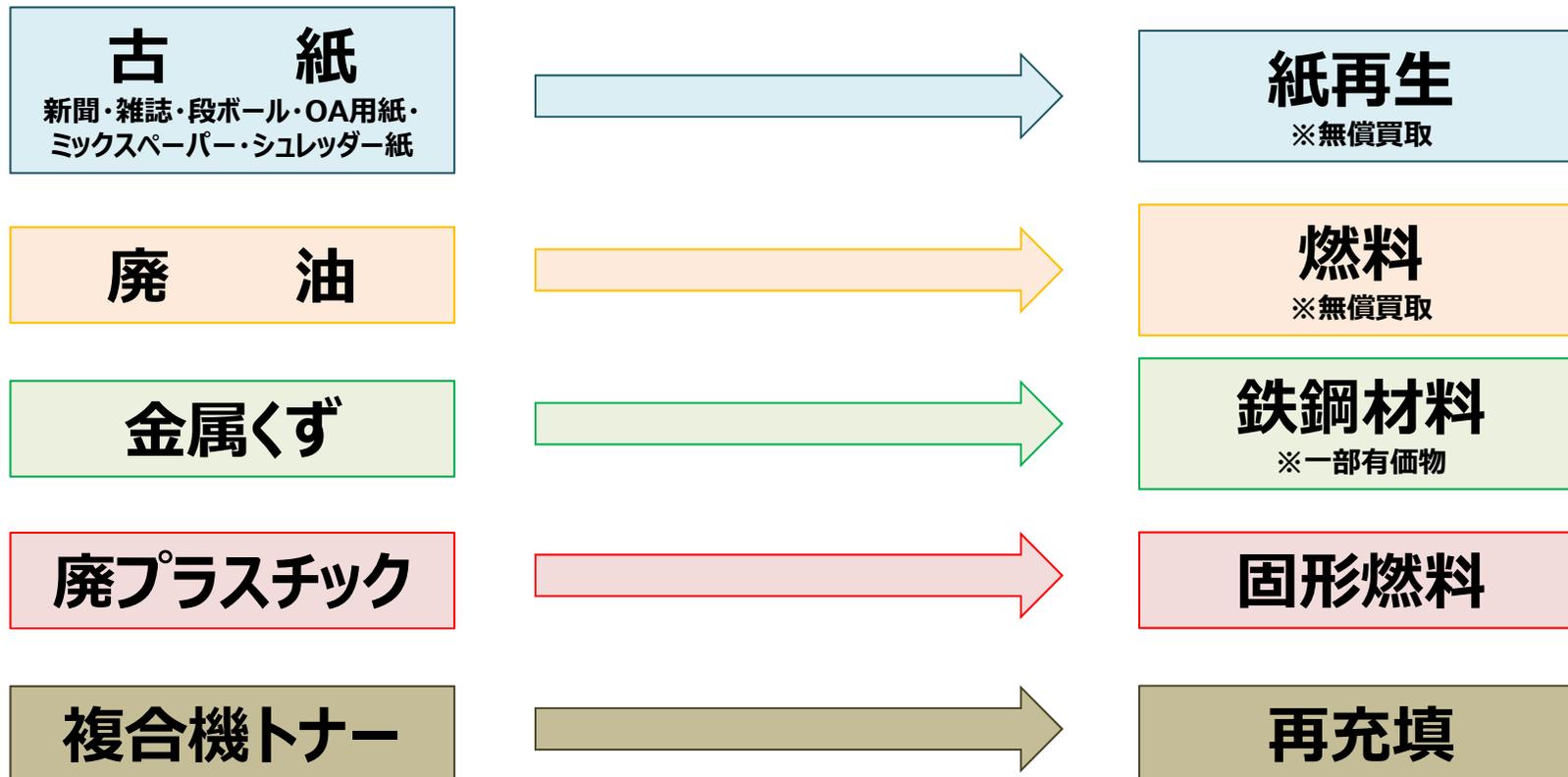
一般廃棄物	資源化可能な古紙
生ゴミ	段ボール、紙バック、新聞、OA用紙、雑誌、ミックス「ガ」
燃やすゴミ	食品の食べ残し、茶がら、調理残など
	使用済みティッシュ、リサイクルできない紙、落ち葉など

産業廃棄物	資源化可能な古紙
廃プラスチック 飲料用ペットボトル含む	飲料用・調味料用ペットボトル、発泡スチロール、ラップ類、 トレー、弁当・カップ容器、ビニール袋、化粧箱など
金属くず 飲料用缶を含む	飲食用の缶、菓子などの缶、刃物類、アルミホイール、 ホチキス針、クリップ、安全ピン、釘など
廃油	食用油、鉱物油、エンジンオイルなど
電池	乾電池類、ボタン電池、充電電池

木くず、古布、オフィス家具等→用途や種類により一般廃棄物か産業廃棄物か、に分類

【項目3】再資源化の推進

産業廃棄物は分別の徹底を行い、有価物化する等資源物リサイクルの強化を図っている



※缶・ビン(ガラス)・ペットボトルのリサイクル
自販機メーカーが回収の上、再商品化

【項目4】紙ごみの減量化の推進

①ペーパーレス化

- ・会議資料のデータ化、モニター・プロジェクターの活用、WEB会議の利用によりペーパーレス化を推進
- ・複合機の集約印刷を推奨(両面・2アップ・製本)
- ・5S活動による紙資料の削減とPDF化の推進

②印刷使用量の管理・評価

印刷使用量・デバイス(白黒・カラー)・料金を各拠点、部署ごとに毎月データ化し総務グループにて突出した利用状況があれば、改善の依頼をし紙使用量の削減とコストの意識づけを行っている

3. 月度別ご利用面数推移 (本社)

本社
 ・ 本社では、対前年比で白黒が81.3%と減少、カラーは140.3%と増加しました。
 本社 白黒使用枚数：昨年は95,453面、今年度は77,657面
 カラー使用枚数：昨年は32,254面、今年度は45,268面



10. 5月度ご利用実績_デバイス別①

拠点	白黒	カラー	合計
本社	77,657	45,268	122,925
支店

12. 5月度ご利用実績_用紙サイズ別_コスト降順①

用紙サイズ	枚数	コスト
A4
A3

※資料一部抜粋

※コピー用紙は完了配慮型製品、トイレトーパーは再生紙製品を使用することで紙ごみの減量化を推進

【項目5】資源回収の推進

①商品容器回収

「FANCLリサイクルプログラム ～花と緑を広げよう～」を開始

お客様とともに使用済みの容器を回収して協力会社様と共同で植木鉢にリサイクルし自然環境を創る取り組みに寄贈



お客様から使用済みの化粧品容器を一部の直営店舗で回収



各拠点の従業員からも回収



サイクルした植木鉢は、毎年横浜市が主催している「ガーデンネックレス横浜」に寄贈

②紙パックの回収

個別に紙パックは回収し、資源回収の推進を行っている





【項目6】発生抑制の推進

【項目9】使い捨て容器・使い捨て製品の使用削減

①事務用品のリユース

- ・「再利用文具置場」を設置し、5S活動で余剰となったクリアファイルやファイル等の文具類を保管し再利用することで、不必要な廃棄・購入の抑制を図っている
- ・利用頻度が高く、傷みの少ない事務什器はすぐに廃棄はせず、一時保管し再利用を推奨し不要な廃棄・購入の抑制を図っている

②グリーンチャレンジ

「オフィスでの紙の削減」と「プラスチック削減・リサイクル」のチャレンジ

	森を豊かにするチャレンジ	海を守るチャレンジ
チャレンジ項目	<p>オフィスでの紙削減の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オフィスでの紙のムダづかいをやめる (コピー用紙の印刷量の削減) 	<p>プラスチック削減・リサイクルの取り組み</p> <p>下記の1つ以上を実行する</p> <ol style="list-style-type: none"> ① MYバックを利用する ② MYカップ・ボトルを利用する ③ SDGs企画、有志や個人で参加したごみ拾い・分別体験 ④ ファンケルのプラ容器回収テストに参加

マイバック、マイカップ、マイボトルを推奨し、プラスチック廃棄の抑制を図っている。

各職場で、チャレンジ推進のための創意工夫が行われ、水平展開することで活性化に繋がっている。

取組一例

SDGs「私の取組」を掲示

ごみ分別クイズ

ポスターでの啓発

- 全社員で取り組んでいます (3,387人)
- ゴミ分別クイズ
 - 第1回 正解率88%(250名)
 - 第2回 2021年11月予定

【項目11】社会貢献活動等

FANCL

正直品質。

地域清掃活動

「地域でのゴミを減らす」「社会とのつながりを大切に」をテーマに定期的に清掃活動を開催
実施頻度：年3回(現在コロナ禍の為、一時的に中止)

■ 横浜市の地域清掃活動に参加 「NPO法人 美しい港町横濱をつくる会」

関内駅前～桜川沿い～ベイスターズ通りのルートを担当



■ 横浜市の地域清掃活動に参加 「NPO法人 神奈川海難救助隊」

船上から、海洋浮遊ゴミ等の回収

